

産油国研究者の受入事業実績

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関/指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
1993	KFUPM	Dr. Abdullah S. Al-Zakri	<p>今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。</p> <p>資源エネルギー庁 海外協力分科会委員との会議 出光興産(株)研究所 物質工学工業技術研究所 京都大学,東京工業大学</p>		4月12日～4月20日
		Dr. Ali G. Ma'adhah			
		Dr. Yaw D. Yeboah			
1994	KUFPM	Dr. Sulaiman Salih Al-Khattaf	日本石油(株)中央技術研究所	Synthesis and Characterization of cracking zeolite-amorphous composite catalysts	7月18日～11月30日
1995	KFUPM	Dr. Hussein Saleh Almuallim	東京工業大学 情報理工学研究科	人口知能の触媒反応工学研究への応用	7月18日～11月30日
	KISR	Dr. Abdulhadi Al-Otaibi	<p>今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。</p> <p>資源エネルギー庁 石油公団(採油増進技術に関する研究協力) 海外協力分科会委員との会議 出光興産(株)研究所 日本石油(株)中央技術研究所 ジャパンエナジー総合研究所 石油産業活性化センター</p>		2月26日～3月6日
		Dr. Adnan Al-Homoud			
		Dr. Jasem Al-Besharah			
Dr. Mohammed Salman					
1996	KUFPM	Dr. Syed Ahmed Ali	石油産業活性化センター石油基盤技術研究所 高機能触媒研究室	Thermodynamic Considerations in Hydrotreating of Petroleum Fractions	8月26日～9月30日
1997	KFUPM	Dr. Jamal Mohammed S. Salamatallah	日本石油(株)中央技術研究所	FCCパイロットプラントの運転技術の研究	7月15日～9月2日
		Dr. Hassan Hashem G. Al-Suaibi Al-Ghamdi	石油産業活性化センター石油基盤技術研究所 高機能触媒研究室	水素化分解触媒の研究	
		Dr. Mohammed Elias Biswas			
	KISR	Dr. Abdulwahab Al-Baroud	Dr. Salah Enezi	ジャパンエナジー総合研究所	水素化精製パイロットプラントの設計、管理、実験技術
1998	KUFPM	Mr. Khalid Jafar Mohammed Al-Nawad	PEC高機能触媒研究室	水素化分解触媒の研究	8月19日～10月2日
		Mr. Mohammed Abdul Bari Siddiqui	日本石油(株)中央技術研究所	FCC触媒に係わる研究	8月19日～9月25日
		Mr. Khurshid Alam	PEC高機能触媒研究室	ゼオライト触媒の研究	8月16日～10月2日
	KISR	Dr. Abdulazeem M. J. Marafi	日本石油(株)中央技術研究所	Training on the evaluation of Petroleum and Petroleum Products	10月11日～10月30日
		Dr. Hisham Al-Henayyan			10月11日～10月23日
	KAAU	Dr. Abdul-Rahim A. Samarkandy	Dr. Uthman M Dawoud	<p>今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。</p> <p>資源エネルギー庁、石油産業活性化センター 海外協力分科会委員との会議、業技術院物資工学工業研究所 大阪大学工学部応用化学科</p>	7月12日～8月22日
1999	KUFPM	Dr. Aymen Abdulmajeed Kayal	日石三菱	石油を中心とする技術移転制度と特許関係の実態調査	8月10日～8月27日
		Dr. Shakeel Ahmed	東京工業大学 石油産業活性化センター石油基盤技術研究所高活性触媒研究室	重質油の水素化分解用触媒の研究	8月10日～9月14日
	KISR	Mr. Faisal Salman Al-Humaidan Mr. Mubarak Muhammed Mejabel	ジャパンエナジー 精製・技術部精製技術センター	パイロットプラントのメンテナンス	7月7日～7月28日
	KAAU	Dr. Iqbal Mohammed Ismail	横浜国立大学工学部物質工学科	新しいリチウム塩を複合化したポリエチレンオキシド錯体の電気化学的特性	11月25日～12月7日
Dr. Abdul-Ghani Hamza Sulaiman		Dr. Abdul-Rahim A. Samarkandy	<p>今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。</p> <p>資源エネルギー庁、石油産業活性化センター 海外協力分科会委員との会議、千代田化工総研 化学技術開発センター 東京大学、東京工業大学、京都大学</p>	5月24日～5月28日	

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関/指導教官	研究(研修)テーマ	研究期間
2000	KUFPM	Dr. Mohammad Ashraf Ali	横浜国立大学 石油産業活性化センター石油基盤技術 研究所高活性触媒研究室	重質油の水素化分解用触媒の研究	8月21日～9月26日
		Dr. Azfar Hassan	東京大学	重質油の水素化分解用触媒の研究	6月26日～7月28日
	KISR	Dr. Dawoud Bahzad	出光興産中央研究所 工業技術院物質工学工業技術研究所	重質油の水素化分解に関する研修	9月4日～9月28日
		Mr. Abdul Mohsen Akbat			
	KAAU	Dr. Iqbal Mohammed Ismail	横浜国立大学工学部物質工学科	新しいリチウム塩を複合化した ポリエチレンオキッド錯体の電気化学的特性	1999年7月14日～ 2000年7月7日
Dr. Uthman M Dawoud		サウジアラビアの産業・民生両面で問題の大きい「腐食、防食」分野の研究者を 日本に長期派遣したいという事で、関係先訪問のため招聘した。訪問先は次の通り。 日揮、住友金属総合研究所、 出光興産中央研究所、東京大学、大阪大学		5月29日～6月2日	
2001	KFUPM	Dr.Shakeel Ahmed	(財)JCCP高機能触媒研究室	VGO水素化分解触媒の特性、 安定性及び性能評価	7月30日～8月17日
		Mr.Abdulgader Abdulaziz Maghrabi	日石菱油エンジニアリング(株)	HS-FCCのデモンストレーション用 プラントの設計	7月16日～8月31日
	Saudi Aramco	Mr.Muhsin D Al-Khudhairi	日石菱油エンジニアリング(株)	HS-FCCのデモンストレーション用 プラントの設計	7月16日～8月31日
	KAAU	Dr.Mohammed Ismail Abdulsalam	東京大学大学院 工学系研究科 篠原正 助教授	すきま腐食のモデル化に関する研究	5月21日～9月14日
	KACST	Mr.Nasser M.D. Al-Harbi	東北大学大学院 工学研究科 山田宗慶教授	水素化精製触媒の水素化脱硫、芳香族水添、 水素化分解の基本性能における改良の研究	9月20日～12月12日
	KISR	Mr.Abdul Majeed Al-Mutawa	(株)ジャパンエナジー精製技術センター	石油の分析試験に関する研修	9月9日～10月11日
Mr.Abdullatif Dashti		5月24日～6月23日			
2002	KFUPM	Dr. Syed Ahmed Ali	TOCAT4 (財)JCCP高機能触媒研究室 新日本石油研究所	水素化分解触媒の調製と特性と評価	6月12日～6月28日
		Dr. Mohammad Ashraf Ali	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	重質油水素化分解の貴金属触媒の調整	6月12日～7月9日
	KAAU	Dr.Mohammed Ismail Abdulsalam	独立行政法人 物質・材料研究機構 篠原正 ディレクター	モレア法で測定した金属溶解速度に基づく すきま内液性の物質移動解析	8月15日～10月7日
	KACST	Mr.Saud Abdulaziz Al-Drees	京都大学大学院 工学研究科 出光興産(株) 中央研究所	ニッケルを含むヘキサアルミニート触媒による メタンの部分酸化からの合成ガス製造	8月20日～11月10日
	KISR	Mr. Masoud Al-Marri	出光興産(株) 中央研究所	原油直接品質改善プロセスのパイロット プラント運転修得と熱的解析	5月24日～6月23日
Mr. Ayedh Al-Mutairi					
2003	KFUPM	Dr.Zaki Shaker Seddigi	東京大学 工学系研究科 大久保達也助教授	マイクロ及びメソポーラス材料の合成と その特性に関する研究	7月7日～7月14日
		Dr.Shakeel Ahmed	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一教授	水-ガスシフト反応に関する研究	7月14日～8月8日
		Dr.Mohammad Ashraf Ali	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	水素化分解触媒の評価	7月23日～8月20日
	KAAU	Dr.Mohammed Ismail Abdulsalam	独法)物質・材料研究機構 篠原正 ディレクター	すきま内腐食の電気化学特性の研究	8月18日～9月11日
	KISR	Mr.Abdul-Wahab S. Al-Hendi	コスモ石油(株) 中央研究所 触媒化成工業(株) 触媒研究所	軽油の深度脱硫のためのパイロットプラントの 管理運転の研修	1月19日～1月30日
		Mr.Ahmed Al-Otaibi			残油アップグレーディングのための パイロットプラントの管理運転の研修
2004	KFUPM	Mr.Musaed Salem M. Al-Ghamdi	島根大学 総合理工学部 岡本康昭教授	MoS <sub>2</sub> /Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> およびCoMoS <sub>2</sub> /Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 触媒の 水素化脱硫活性に及ぼすボロンの添加と 調整法の影響	7月20日～8月20日
		Dr.Sulaiman S. Al-Khataff	秋田大学 工学資源学部 中田真一教授、元田慎一 助教授	ペロブスカイト型酸化物触媒によるプロピレンの 酸化反応に関する研究	7月26日～8月16日
	KAAU	Dr.Mohammed Ismail Abdulsalam	東京海洋大学 海洋工学部	海洋性大気環境下における亜鉛めっき鋼板 およびアルミ合金の耐食性	8月11日～9月8日
	KISR	Dr.Mahmoud Al-Shamali	(株)ジャパンエナジー精製技術センター (株)ジャパンエナジー 分析センター 丸山文夫 主任研究員	石油評価の研修プログラム	6月28日～7月16日
		Mr.Ayyad Toman Al-Dhafeeri			
UAEU	Dr.Ali H. M. Hassan Al-Marzouqi	東北大学大学院 工学研究科 猪股宏教授	原油中の重質成分(C <sub>7</sub> <sup>+</sup> )の キャラクタリゼーション	7月5日～8月13日	

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関/指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2005	KFUPM	Dr.Nadhir A. H. Al-Baghl	北海道大学大学院工学研究科 増田隆夫教授	シリカライト-1とZSM-5ゼオライト内のベンゼン、p-キシレン及びm-キシレンの拡散係数の測定	6月18日～7月21日
		Mr.Abdul-Rahman F. Al-Betar	広島大学大学院 工学研究科 塩野毅教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に関する研究	6月28日～7月27日
	KAAU	Dr.Hisham Saeed Bamufleh	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	軽油脱硫への運転条件の影響の研究	7月4日～7月29日
	KISR	Mr.Naser Al-Enzi	出光興産(株) 中央研究所 太田信之テーマリーダー	パイロットプラントの管理、 運転およびデータ解析	6月19日～7月16日
		Mr.Jamal Al-Fadhli			
UAEU	Dr.Samir I. Abu-Eishah	東京工業大学 理工学研究科 小菅人慈助教授	共沸気液平衡データの測定とシミュレーション	6月22日～7月22日	
2006	KFUPM	Dr. Abdulaziz Abdulla Al-Shuaibi	群馬大学 工学部 斎藤三郎教授	ラプラス変換による実数値の逆変換	6月19日～8月18日
		Dr. Hasan Ali Al-Muallem	東京大学大学院 工学研究科 相田卓三教授	デンドリマーに関する研究	7月30日～8月31日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	横浜国立大学 工学部 朝倉祝治名誉教授	石油産業における防食・ 腐食技術指導者の教育法	8月3日～9月13日
	KACST	Mr. Ahmad Abdullah O. Al-Omar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	軽油の水素化脱硫触媒の調製・評価	8月7日～9月12日
	KISR	Dr. Dawoud M. Bahzad	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一教授	燃料電池のための水素製造用触媒の 調製と開発	6月12日～7月7日
		Ms. Khalidah M. S. Al-Dalama	島根大学 総合理工学部	Co(CO)3NOを使用したCVD法による 水素化脱硫触媒のキャラクタリゼーション に関する基礎的研究	6月12日～7月7日
UAEU	Dr. Mohamed Humaid Mohamed Hassan Al-Marzouqi	神戸大学 工学部 応用化学科	メンブレンの作製とガス-液メンブレンコンタクター によるガス中の炭酸ガス除去の シミュレーションの構築	7月12日～8月22日	
2007	KFUPM	Dr. Ali Osman Oncel	京都大学 防災研究所 橋本学教授	サウジアラビアの油田地帯における 地震メカニズム予知の研究	7月2日～8月10日 8月27日～8月31日
		Dr. Ali Osman Oncel	産業技術総合研究所 地震資源開発 西澤修主幹研究員 研究部門 物理探査研究グループ	岩盤通過時の四次元地震波伝播の 流体の影響	8月13日～8月24日
		Dr. Mohammad Naseem Akhtar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	LPGから芳香族化合物への転化反応の研究	7月30日～9月7日
	KACST	Mr. Feras Ahmed Al-Shehri	島根大学 総合理工学部 岡本康昭教授	Co(CO)3 NOを用いたCVD法による 酸化チタン担持Co-MoS2触媒の 表面構造に関する研究	7月5日～8月3日
		Mr. Feras Ahmed Al-Shehri	東北大学大学院 工学研究科 山田宗慶教授	軽油の超深度脱硫触媒の 失活に関する基礎研究	8月6日～9月3日
	KISR	Mr. Abdulwahab F.A.A. Al-Barood	ジャパンエナジー 精製技術センター 松田健一所長	軽油の水素化脱硫時の水素化脱硫触媒性能に おける窒素化合物の被毒の影響	6月28日～7月27日
		Dr. Abdulazeem M. J. Marafi	九州大学 産学連携センター 持田勲特任教授	軽油留分中の硫黄、窒素及び多環芳香族化合物 の分析における最新技術の活用	2月4日～2月29日
Saudi Aramco	Dr. Ali Mahmoud Al-Somali	触媒化成工業 若松触媒研究所 執行役員 福田盛男所長	DAO水素化分解触媒のパイロットプラント 操作に関する研究	11月25日～12月7日	
UAEU	Dr. Eisa Ali Hasan Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二教授	管内の液滴及び気泡の合一および 相互作用に関する研究	6月25日～7月25日	
2008	KFUPM	Dr. Jaafar H. AlMutawa	京都大学 大学院情報学研究所 太田快人教授	部分空間同定法を用いた工学システムの 状態空間表現に関する研究	7月12日～9月5日
		Dr. Mohammed Abdulmajeed Aldaous	九州大学 先端物質化学研究所 尹聖昊教授	CoMoZrO2触媒のLCO脱硫性評価	7月31日～8月25日
		Dr. Mohammad Naseem Akhtar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	LPGから芳香族化合物への転化反応の研究	8月25日～10月2日
	KISR	Ms. Fatma Jassem	名古屋大学 大学院工学研究科 田川智彦教授	メタン改質触媒の特性解析、 マイクロリアクターの解析	7月7日～8月4日
		Dr. Hamza Albazzaz	鹿児島大学 工学部 甲斐敬美教授	常圧残渣油の脱硫反応装置の コールドフローモデルの研究	1月13日～2月6日
		Dr. Narjes Ghaloum Dr. Ayman Al-Qattan Dr. Faisal Al-Humaidan	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一教授 他	燃料電池開発関連先訪問と第5回国際 水素・燃料電池展視察&講演会出席	2月22日～2月28日
UAEU	Dr. Nayef Mohamed Ghasem	神戸大学大学院 工学研究科	UAEにおける天然ガスからのCO2分離に 用いる高分子多孔質膜の作製	7月22日～8月22日	
KACST	Mr. Issa Mohammed Abaalkheel	広島大学 大学院工学研究科 松山秀人教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に 関する研究	10月3日～11月7日	

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関/指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2009	KFUPM	Dr. Muhammad Naseem Akhtar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫教授	ヘキサン芳香族転化用新規触媒の開発	7月30日～9月24日
	KACST	Mr. Mohammed Hassan H Almusawa	広島大学 大学院工学研究科 塩野毅教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に関する研究	6月1日～7月21日
	UAEU	Dr. Eisa A Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二教授	管内の液滴及び気泡の合一および相互作用に関する研究	7月1日～7月31日
	KISR	Dr. Yussef Haji Mirza Sebzaly	コスモエンジニアリング 営業部長 三池哲也	ペーパー回収技術・回収方法・回収システムとペーパー回収システムの石油産業での応用に関する研究	2月15日～2月23日
		Dr. Mahmoud Ayesh Al-Shamali	新日本石油 製造技術本部 技術部長 安達博治	ペーパー回収技術・回収方法・回収システムとペーパー回収システムの石油産業での応用に関する研究	2月24日～2月26日
Intevap	Dr. Omayra Zuleika Delgado Gonzalez	北海道大学大学院工学研究科 増田隆夫教授	担持触媒を用いた残油と重質油の水蒸気雰囲気下の酸化的軽質化反応	10月6日～11月16日	
2010	KFUPM	Dr. Mohammad Mozahar Hossain	北海道大学大学院工学研究科 増田隆夫教授	酸化鉄系触媒を用いた水蒸気と超臨界水雰囲気中のオイルサンドピッチューメン等重質油の軽質燃料化	8月4日～9月15日
	KACST	Mr. Abdalmajeed Mohammad Algafiah	広島大学 大学院工学研究科 佐野庸治教授	① ゼオライトの合成 ② ヘテロポリ酸のカウンターカチオン交換 ③ 海水からの層状ケイ酸塩へのGaイオンの能集	6月18日～8月5日
	UAEU	Dr. Eisa A Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二教授	管内の液滴及び気泡の合一および相互作用に関する研究	6月29日～7月28日
	KISR	Mr. Adel M S A Almutairi	九州大学 産学連携センター 持田勲特任教授	石油留分油の分析及び脱硫触媒に関する教育	12月13日～12月25日
		Mr. Rashed Y Bouresli	九州大学 産学連携センター 持田勲特任教授	石油留分油の分析及び脱硫触媒に関する教育	
Intevap	Dr. Juan Carlos De Jesus Rodriguez	北海道大学触媒化学研究センター 朝倉清高教授	表面科学的手法による触媒表面解析	10月5日～11月26日	
2011	KFUPM	Dr. Mohammad Shamsuzzoha	東京工業大学 資源化学研究所 関宏也准教授	分割壁蒸留塔のプロセス制御	6月30日～8月15日
		Dr. Nabil Al-Yassir	北海道大学 触媒化学研究センター 上田渉教授	複合酸化物触媒の材料設計	7月11日～8月19日
		Dr. Oki Muraza	北海道大学大学院 工学研究院 増田隆夫教授	ナノサイズゼオライトの開発と炭化水素改質触媒	7月11日～8月25日
	Intevap	Dr. Luis Felipe D'Elia Camacho	名古屋大学大学院 工学研究科 松田仁樹教授	石油コークスを用いる新規炭素系機能材料の開発	9月7日～11月4日
	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Sattar Jalil Hussein, Mr. Khaleefa K. Uwaid	日揮触媒化成(株)北九州事業所 触媒研究所 島根大学総合理工学部 久保田岳志准教授	触媒性能評価技術の研究	11月1日～11月30日
	KISR	Dr. Narjes Ghaloum	京都大学 江口浩一教授研究室	炭化水素からの水素製造技術と触媒開発	2月6日～3月1日
2012	KFUPM	Dr. Mohammad Shamsuzzoha	東京工業大学 資源化学研究所 関宏也准教授	石油精製および石油化学プロセスのプラントワイド制御	6月7日～7月30日
		Dr. Oki Muraza	北海道大学大学院 工学研究院 増田隆夫教授	ナノサイズゼオライトの開発と炭化水素改質触媒への応用	6月12日～7月25日
	KACST	Dr. Mohammad Laffai M Alotaibi	横浜国立大学 朝倉祝治名誉教授 (株式会社 ベンチャー アカデミア)	腐食機構の基礎的研究	6月5日～7月20日
	UAEU	Dr. Ali Hilal Al-Naqbi	九州大学大学院 工学研究院 化学工学部門 梶原 稔尚教授	膜分離によるバイオ人工肝臓のための三次元培養法およびバイオリクターに関する研究	6月20日～7月13日
	Iraq 石油省 PRDC	Ms. Saba Abdulridha Yousif Al-Rubaye, Ms. Ban Abdulrahman Ahme	日揮触媒化成(株)北九州事業所 触媒研究所 島根大学総合理工学部 久保田岳志准教授	石油精製触媒の評価に係る研究	9月11日～10月5日
	KISR	Mr. Hassan A H M Tarish	横浜国立大学 朝倉祝治名誉教授 (株式会社 ベンチャー アカデミア)	新しい手法による腐食の電気化学的研究	9月19日～10月19日
	Intevap	Dr. Yilda Margot Romero Perez	島根大学総合理工学部久保田岳志准教授 三重大学大学院 工学研究科 石原篤教授	不均一系水素化脱硫触媒の調製とキャラクタリゼーション	10月24日～12月13日

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関/指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2013	KACST	Mohammad Abdulrahman Alowirdy	広島大学大学院 工学研究科 塩野 毅教授	オレフィン重合に関する研究	6月11日～7月25日
	UAEU	Dr. Naeema Ibrahim Karam Aldarmak	東北大学大学院 環境科学研究科 Richard Smith教授	重質油成分の低粘性化に資する 固液平衡物性推算	6月24日～8月1日
	KFUPM	Dr. Muhammad Atiqullah	北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス科 寺野 稔教授	担持型ポリオレフィン触媒に関する研究	7月19日～8月28日
	Intevap	Dr. Gladys Esperanza Noguera Herrera	北海道大学 触媒化学研究センター 高橋 保教授 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究 部門 鷹嘴 利公新燃料グループ長	有機金属を用いた有機合成重質油分解試験と 生成物のキャラクタリゼーション	10月10日～11月15日
					11月18日～11月29日
	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Omar Mahmood Khaleel Al-Azzawi Mr. Ahmed Mohamed Joodi Al-Kinani	鳥取大学大学院工学研究科 片田直伸教授研究室 日揮触媒化成(株) 北九州事業所 触媒研究所	固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究 石油精製触媒の評価に係る研究	10月22日～11月8日
11月12日～11月25日					
KISR	Mr. Mustafa A Al-Shamali	横浜国立大学 朝倉祝治名誉教授 (株式会社ベンチャーアカデミア)	実験を伴った石油精製プラントの腐食と 防食理論と実際の研究	1月8日～2月19日	
2014	KFUPM	Dr. Palani Arudra, Research Scientist III, Center for Refining & Petrochemicals Department	北海道大学大学院工学研究院 有機プロセス工学 部門 増田隆夫教授	マクロサイズハイシリカZSM-5とZSM-11を 用いたC6オレフィンの接触分解	7月1日～8月6日
	UAEU	Dr. Mohammad Sayem Mozumder, Assistant Professor, Chemical and Petroleum Engineering Department	鹿児島大学大学院理工学究科 筒井俊雄教授	石油の接触分解における芳香族および多分岐炭 化水素の選択性に対するゼオライト種の影響	7月14日～ 8月20日
	KACST	Mr. Nasser Judaya N. Alqahtani, Assistant Researcher, Petrochemicals Research Institute	京都大学大学院工学研究科 大江浩一教授	遷移金属触媒を使った芳香族複素環合成	8月1日～9月22日
	Iraq 石油省 PRDC	Mrs. Yasameen Mundher Jaed Al-Dulaimi Senior Chemical Eng, Ms. Marwa Nadhim Abbas Al-Juboori Senior Chemical Eng, Mrs. Yasameen Mundher Jaed Al-Dulaimi Senior Chemical Eng, Ms. Marwa Nadhim Abbas Al-Juboori Senior Chemical Eng,	北海道大学触媒化学研究センター 朝倉清高教授 鳥取大学大学院工学研究科 片田 直伸教授	石油精製触媒評価のための表面解析手法 に関する研究 固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究	9月3日～9月30日
					10月2日～10月31日
	Intevap	Mr. Jorge Antonio Moncada Vivas Refining and Industrialization Div.	東海大学湘南校舎理学部物理学科 分子複雑系 研究グループ 八木原 晋教授	広帯域誘電分光法(BDS)及び電気化学的 インピーダンス分光法などの技術による 超重質原油の電気的特性の研究(EIS)	9月8日～11月13日
KISR	Mr. Ahmed Mohammed Alotaibi, Research Assistant Analytical Laboratory, Petroleum Research Center	室蘭工業大学 大学院工学研究科 くらし環境系 領域 神田 康晴助教	最新脱硫触媒の評価とキャラクタリゼーション	平成27年1月7日 ～2月5日	
2015	KFUPM	Dr. Sahel Abduljawad, Vice Rector Mr. Abduljawad Waleed Sahel N.	北海道大学大学院、 東工大資源科学研究所、 京都大学国際交流推進室	KFUPMと本邦研究機関のトップとの間で今後の研 究者交流事業の方針を協議する	平成27年6月 7日 ～ 6月 16日
	KACST	Mr. Ahmed Sulub Ali Al-Somali Researcher, Petrochemical Technology Center	広島大学大学院工学研究院 塩野 毅 教授	オレフィン重合と重合触媒開発	平成27年7月21日 ～ 9月11日
	KISR	Mr. Rashed Y.R.S.R Boursli Research Associate	富山大学大学院 理工学研究部 椿 範立教授	炭化水素の水素化分解用新規ゼオライト触媒の研 究	平成27年9月1日 ～ 9月30日
	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Mustafa Hasan Flayyih	鳥取大学大学院工学研究科 片田 直伸教授 北海道大学触媒化学研究センター 朝倉 清高教授	固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究 水素化脱硫触媒ナノゼオライト触媒の調製 とキャラクタリゼーション	平成10月7日～ 10月30日 11月2日～11月30日